

第57回ルーメン研究会 プログラム

一般口頭発表（10題, 13:05～15:45）

- [1] 13:05 二酸化炭素との比に基づくメタン排出量推定法を用いたメタン削減資材の検証
：メタ分析による3-ニトロオキシプロパノールでの事例
及川康平^{1,2}、鈴木知之¹、盧尚建²、芳賀聡²（¹農研機構 畜産研、²東北大院農）
- [2] 13:20 日本輓系種の糞中乳酸レベルに対するデンブンプン摂取量および細菌叢構成の影響
矢野琳太郎、大塚亘、真船智之、安達一、福間直希（帯畜大生命・食料研）
- [3] 13:35 天然化合物ベツリンが反芻胃内*Streptococcus*の代謝へ与える影響
安達一¹、伊藤和顕¹、檜山亮²、関一人²、近藤大輔¹、矢野琳太郎¹、花田正明¹、
西田武弘¹、福間直希¹（¹帯畜大院畜産、²道総研 林産試験場）
- [4] 13:50 シーケンシング手法がルーメン由来サンプル細菌叢の16S rRNA遺伝子アンプリコン解析
に及ぼす影響
伊藤和顕^{1,2}、福間直希²、小池聡³（¹北大産学・地域協働推進機構、²帯畜大、
³北大院農研）
- [5] 14:05 濃厚飼料多給下でカシューナッツ殻液を給与したヒツジでの*in vitro* ルーメン発酵に及ぼ
すビタミンB₁₂前駆体とフマル酸の影響
久富紫音、小櫃剛人、黒木優真、小倉宏紀、山際律希、稲生雄大、杉野利久
（広大院統合生命）
- [6] 14:30 Effect of Urea and Molasses Treatment on *In vitro* Fermentation and Methane
Production of Spent Mushroom Substrate
Jane Camille A. Crisostomo^{1,2}, Jamal James D. Manlapig^{1,2}, Tomomi Ban-Tokuda¹,
Hiroki Matsui¹（¹Laboratory of Animal Production, Department of Sustainable
Resource Science, Faculty of Bioresources, Mie University、²Department of
Animal Science, College of Agriculture, Central Luzon State University）
- [7] 14:45 産業用大麻の反芻動物の粗飼料としての利用性評価
乗上紗彩¹、伴智美²、松井宏樹²（¹三重大生資、²三重大生資研）
- [8] 15:00 消化性の異なるソルガム品種のサイレージが*in vitro* ルーメン発酵に及ぼす変化
小林美咲、上野豊（信大院総理）
- [9] 15:15 繊維付着性ルーメン微生物のシングルセルゲノム解析
瀧澤修平、藤森美帆、真貝拓三（農研機構 畜産研）
- [10] 15:30 低メタン牛に特徴的な未培養*Succinivibrionaceae*科細菌の生態的特性解明と機能推定
藤森美帆、瀧澤修平、真貝拓三（農研機構 畜産研）

ルーメン研究会50周年記念セッション（16:00～17:00）

ルーメン研究会は1974年に前身のルーメン研究談話会として発足し、お陰様で50周年を迎えました。これもひとえに、皆様の日頃のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当会は発足以来、若手を中心に最新のルーメン研究成果を報告する一般講演会、基礎から応用まで幅広い視点で反芻家畜生産を議論するシンポジウム、日本・韓国・中国の国際シンポジウム合同開催など、研究集会を活動の中心として参りました。今回、これまでの集会で議論されてきたトピックを1980年代から2020年代まで年代ごとに振り返り、当会の歴代会長に当時の様子を語っていただくセッションを企画しました。ルーメン研究の変遷を振り返りつつ、今後の展望を一緒に考える機会となれば幸いです。